



Show Rotary Cares
ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区
ガバナー——久保田 昭 治
会 長——五十嵐 総 一
会長エレクト——細 井 増 雄
副 会 長——長谷川 有 美
幹 事——佐 野 勝 栄
副 幹 事——西 山 徳 厚
S A A——山 浦 日出夫
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	78名中 54名
先々週出席率	88.57 %

ビジター

三条南より 池田 繁さん

ゲスト

新日本製鉄(株)新潟支店
建材グループリーダー 緒方 良殿

先週のメイクアップ

5/28 燕へ
細井増雄さん

5/28 見附へ
加藤紋次郎さん

5/29 吉田へ
渡辺勝利さん

6/1 三条南へ
小柳直人さん、丸山行彦さん、
佐藤吉平さん、古沢富雄さん、
高畑 昭さん

6/2 三条北へ
小柳直人さん、丸山行彦さん、
佐藤吉平さん

会長挨拶

五十嵐総一会長



皆さん今日は、お食事中の方はごゆっくりお食事をお取りいただきたいと思ひます。

今日は第一例会と言う事であり、私も久しぶりの登壇でございまして色々お話しもありますが、せっかく今日お客様もお見えの事でございますので、たっぷり卓話の時間を取りたいと思っております。

本日、卓話をいただきます新日本製鉄株式会社新潟支店の緒方さん、お忙しい所本当にありがとうございます。

又三条南クラブから池田先生ようこそおいで下さいました。ありがとうございます。

地区協議会及び家庭会合が行われた訳でございまして、その声を聞きますとやっとな私の年度も終りかけたな……！とひと安心“ニコニコ”と言う感じでございまして、私が二週間の欠席させていた間に色々な事柄がありまして七転八倒しております。

6月6日、三条南クラブの30周年の記念式典がある訳でございますが、一番楽しみにしておられた分区代理の豊島豊さんが先にお亡くなりになられまして、昨日はお通夜、今日は告別式と言う事で大変残念であります。心からお悔やみ申し上げます。

又、五十嵐寿一会員の御母様がお亡くなりになられましてお参りさせていただきました。ご冥福をお祈り致す次第でございます。

5月24日に新津中央ロータリークラブが20周年の式典に私と幹事二人で式典にまいりまして、盛大に行われました。そこで久保田ガバナーが体調を崩されて、東京の方に入院されていると言う事と吉田パストガバナーが式典のご挨拶の中で申し上げられたと言う事をご報告させていただきます。

年度末になりますとネーザン君もいよいよ交換学生の任務を果たして、今月一杯で学習を終わり来月7月早々にアメリカに帰国されるという事で、国際奉仕委員長の加藤さんが中心となってお別れ会の準備を進めている様でございます。

会員の方々の事情で退会される方がいる中で、今日は川瀬さんが入会されるという事で、後程ご紹介させていただきますが色々報告がありますし、今日は第一例会でありますのでこの程度で挨拶を終らせていただきます。

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎三条ローターアクトより
移動例会のご案内がとどいております。

と き 6月18日(木)PM7:30~
ところ まるい

◎1998~99年度青少年奉仕部門合同会議のご案内がとどいております。

と き 7月5日(日)
ところ 湯沢町公民館

※6月6日(土)は南RC30周年記念式典ですので、ご出席の方はお忘れなく…PM2:00までにVIPにお集り下さい。ロビーで幹事がおまちしております。登録者数は50名です。

ニコニコBOX



五十嵐総一さん

2週欠席させて頂き、長谷川副会長にお世話になりました。

本日の卓話の為忙しい所、新日鉄の緒方さん、ありがとうございます。

佐野勝栄さん

新入会員川瀬さんを歓迎して。

5/31(日)八十里越えをして来ました。

松谷さんにはお世話になりました。

川又嘉瑞範さん

ロータリーにお世話になった次女の結婚式に親類一同オーストラリア、メルボルンへ行って来ました。楽しい盛大な結婚式でした。

丸山行彦さん

川瀬さんの入会を歓迎します。

林 光輝さん

川瀬先生の入会を歓迎します。

小柳直人さん

川瀬先生の入会を歓迎いたします。

近藤雄介さん

本日の講師、緒方さんを歓迎して。

斎藤弘文さん

この度協同組合三条工業会の理事長に選任されました。全力投球致しますので宜しくご指導の程お願い致します。

石橋育於さん

6月6日に満60歳になり、還暦を迎えます。これからもよろしく願い申し上げます。

五十嵐寿一さん

母の通夜には、たくさんお参りいただきありがとうございます。

6月3日分 ￥26,000

今年度累計 ￥836,000



卓 話

「勝つ為のチームワーク」

新日本製鉄(株)新潟支店

建材グループリーダー

緒方 良 殿



今ご紹介の新日鉄の緒方です。三条ロータリークラブの例会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

私は昨年3月より東京より新潟へ赴任致しまして、現在建材グループのリーダーとして仕事をしております。

今日は私がバレーボールを通じて、選手、キャプテン、コーチ、監督代行、監督を通して全国制覇を全部で9回させていただきました。そんな事でNHKのスポーツディー等、ジュニアサーキット等の指導の立場にたってお話し致します。

皆様大変立派な方々の前ですが、私の経験を少しお話し致したいと思っております。

所で、今日の新聞で見ましたのですが、サッカーの三浦カズ選手がハズレルと言う記事をよみました。私とカズとは少なからず縁がありまして、個人的にバツ

クアップしております、どこで縁があったかと言いますとファッションデザイナーのコシノジュンコさんで今見附のアドバイザーをされて、私選手の頃から非常に可愛がっていただいております、コシノさん夫婦と一緒にバルセロナに行ったりして色々縁がありました。

コシノさんがスポーツはファッションと一体であると言う事を今から10年前に言われておられまして、新日鉄のバレー部のユニホームを一回デザインしてみたいと申されました。私共としては当時のスポーツ界は、非常に保守的な世界でファッションとスポーツを一緒にするな！と機能的であるべきと言う議論とファッション性を優先すべきとの議論がありまして、結局コシノ先生にユニホームを作ってくださいました。初めの評判は芳しくなく、少しピエロの様な感がありましたが、その年にVリーグで優勝させていただきました、コシノ先生も大変喜んでもらいました。

コシノ先生はそれからジャイアンツのウィンドブレーカー、ベルディーのユニホーム等新日鉄バレー部のユニホームを手がけてからその様なユニホーム造りに変わって行ったと言う事です。

コシノ先生が定期的にご自宅でホームパーティーを開いております、その時ベルディーの関係でカズと設楽リサさんが来ておられて、当時カズは見た目はヤンチャ坊主の感じがするのですが、スポーツマンでは私の方が先輩なのでスポーツマンらしく……をお取りしましょう……とか、その様なキチントしており、そ

の後親身になって付き合いました、ぜひワールドカップで頑張りたいと思っておりました所、昨日カズがハズされたと言う事で私は非常に残念でたまりません。

今日、私が何を言うかと言うと私も同じ経験をしておりまして全日本バレー部におられる時、ロスオリンピックに出れると言う事で15名の全日本の部員が在席しておりました。

皆さんご存じの様にバレーボールと言うのは12名である訳で、オリンピックに行けるのは12名で今回の形と同じでありました。私はハズされた3名の一人であります。なぜその様な事を話すかと言うと、私のハズされ方とカズのハズされ方とは全く違い、今回のカズの心境を考えるととてもたまらないだろうなと思ひ、あれだけ貢献してサッカークラブに生命をかけて行って足元をすくわれる恰好となってしまう。私の場合、合宿で15名から12名に絞るよ……と当時中野監督で(大古さんの前任者)やってまして、我々15名が誰が落ちるか、皆んな一生懸命やりました。ところが一ヶ月前位から監督が私と目を合わさなくなったり、ベンチに入った時“オイ緒方行くぞ”と声がかからないのです。なんか、おかしいな！試合に出る機会がガタンと落ちたのです。これはひょっとしてハズれるのは俺かな……。周りの人達も誰がハズれるか一生懸命見ている訳です。レギュラーの6人位はオレが行かないと日本は勝てないと思っている様ですけど最後の5～6人の選手は必死の訳で、なんとか残ろ

うと言う頃、私がハズされたのは一ヶ月前から、私にアナウンスしてくれたたのです。私もほかの連中を見てあと2名いた訳です。ホトホトこれは決まりだな……。と思って私が練習したり、試合に出たりしている時に自分自身で「決まりだな……。」と思ってしまったのです。「ハズれるのは俺なんだな……。」ここで私が行きます……と言うと監督に反するな！ここは一步譲ろう……と私は引いた訳であります。これは私の単なる思い込みだったかも知れませんが、よくよく考えて見ますと俺はなにがなんでも行くんだ……！とこの様にやっていたら勝てたかも知れませんが、やはり監督はシグナルを送ってくれ、シグナルが私にとってどの様な意味があったのかと言いますと“ヨーシ分かった、オマエラ行け”俺は違う所にバレーボールの接点を置いて、指導的立場自分のチームを日本一にするんだ……。と言うある程度オリンピック選手から少し離れて基点を持ちはじめ、この様な事がありましたのでその後自分のチームでキャプテンとか監督とかなどして優勝させていただいた訳ですが、今日お話ししたかったのは皆様が経営者であられるので今厳しい時代、リストラだと誰の首を切るかなどと話になった時、本人がやる気満々の人に“君”君今日で終りだよ……。と言うか、一ヶ月前位になんとかアナウンスを出すか、これは非常にむずかしい問題でしてどちらが良いのか分かりませんが、その経験をしたのでカズの今の心境は分かりません。すぐ前まで俺は行くんだ……。と思ってハズされた。

私の様にオリンピックに行こうと思って一ヶ月前になんとか“俺がハズレだな……”と思ひながら呼ばれてハズされた。その選手の心の持ち方、次へのステップアップとはだいぶ違うのではないかと思います。

監督は自分の考えた「勝つ事」一点を求めて集中してやります。私がやっていた時代ですらもマスコミだとか、新聞もそうですし、会社の人達もそうであった様に“知ったか振り”して言うのです。全く違うレベルで考えている事が理解出来ない訳であります。

今、岡田監督は何を考えているか分かりませんが、やはり私がカズを知っているが故に岡田監督のやり方は完全にプロに徹してやっている訳で、日本の文化には未だなじめない決め方をしたのではないかな……。と言う様な個人的感じがします。ところが欧米のプロなど私が世界30ヶ国を遠征させていただきましたが、やはり欧米人、特にアメリカ人ではこの様な事は当り前の世界で、日本人的でないなあ……。と言う事、じたいが少しおかしい時限だと思っております。これは皆さん今日これから新聞等で今回カズをハズした事が色々な事で評論されると思います。ぜひそんな話しがあつた時、色々な止めさせ方があるんだ……とハズし方があると言う事を参考にさせていただければなあ……と思っております。

本題の勝つためのチームワークとはスポーツを大別すると4つに分ける時、皆さんはスポーツを分解される事はあまりないと思いますが、第1にレクリエーショ

ン(遊び等、ゴルフ等)、第2に健康の為のスポーツ(ジョギング等)第3教育の為のスポーツ(学校のスポーツ部活で精神的、体力的に鍛える)、第4に勝つためのスポーツ(勝つ事だけに集中して、それ以外の事は排除する)

今のワールドカップの選考と一緒にです。健康だとか、レクリエーションは一切考えず、教育的配慮も全くありません。ただ勝つ事だけあります。今この様にしたら勝てるか、又この大会でどの様にしたら勝てるかを徹底的に考える、これが勝つためのスポーツであります。

私が28歳の時、肺炎で緊急入院でかき込まれた経験で自分が何をやっていたんだろうか、私は膝が悪くて2年間痛み止めを打っておりました。この場にもお医者さんがいらっしゃると思いますが、インダシンザエル、ボルタシンザエルを毎日座薬で併用しておりました。消炎鎮静剤なので私が風邪をひいておりましたも、シグナルが私にこないのです。それは消炎鎮静剤でおさえているからであります。ですからとうとう肺が真っ黒になってしまっておりました。

ある時ドーと高熱が出まして緊急入院しました。“お前死ぬぞ……！なにをやっていたのだ！”と言う事で医者に話したら、“お前それは自殺行為だ……。”と鎮静剤を打ちながらやっていた事は、私はただ勝ちたいの一心でただ試合に出て勝つ事ばかり考えていまして、自分の身体がどうなってもいい……と思っております。

さきほど話しましたが、健康のスポー

ツはスポーツをしたら健康になるなどは勝つ為のスポーツではありません。新日鉄の田中選手、小田選手等と握手をするとビックリすると思いますが、小指が横に曲がっております。これは一生物……ですね。30歳位迄バレーボールをやっても直らない。その位身体を傷めてやるスポーツです。今日の主題であるチームワークは皆さんにお話しする時に今日帰って息子に言うておこう……。と言う様なチームではありません。本当に勝つ為にどうするかと言う事であります。勝つ為にのみあるチームワークであると言う事を聞いていただきたいと思ひます。

私が監督している時、皆さんがご存じの植田選手、中垣内選手らがやっている当時は非常に強く3連覇などしておりました。

ある選手が私の所に来まして、“アルヤツ”をハズしてくれと言って来ました。コイツをハズしたら日本一になってやる……。だから心配しないで他の……君を入れて下さい。絶対優勝してみせます……。今この話を聞くとなんか責任転化をしている、とんでもないチームでないかとお思いになるかと思ひますが、やはりそこが相当に自分自身に自信を持っているので、オレ一人でも勝つてやるという個性の集まりであり、これが一番大切でありまして、例えば練習している時、私はよく練習の内容で決まるよ……と言い、根本的に何が違うかと言うと強いチームと弱いチームの練習のどこが違うか、練習中に失敗した時に我々は必ず、トスを上げそれを打ち損じたならこんなのでは

打てない……。もっと高く上げて下さい。又早くして下さい……。だから打てないのだ……。と喧嘩する。

中垣内は中垣内で手がだめなんだ……。と相当喧嘩するんです。練習が終わったらそれぞれ皆んなに言うていられん……。と散って行く、又次の日も練習に集まる。一般的に考えるチームワークとは相当にかけはなれている。これを数繰返す、ミスをチェックしている訳であります。弱いチームの練習は練習中にも失敗した時ドンマイ、ドンマイ……とやっている。今のは俺が悪かった、次に頑張ろうね。ドンマイ、ドンマイと練習中にやっている。お互いに俺が悪かった、何が悪かった。どこで悪かった等全く意志の疎通が出来ていない。又同じミスをする、又ドンマイ、ドンマイ……と、お前達何をやっているのか……。練習と言うのはミスをどうやって少なくするのが練習と言うもので、その様なチームがいざ試合になったらどうなるか。試合中に喧嘩が始まるんです。チームの中で喧嘩をする様になります。我々は何が違うかと言うと練習中は相当喧嘩をするのですが、いざ本番になり敵を前にすると次第に試合が進み決勝戦の時が近づくにつれ、ベクトルが敵に向いて来るのです。その時にトスが乱れた時等でも“まだ打てます、頑張ります……。”と言う動きになり、相手に対して“ここが頑張り処だ……！今頑張らなくては……。”と言う事をしきりに皆んなが言い合つて相手に向かって行くのです。そうなれば必然的に勝つチームと負けるチームとではやる前から練習の

時に決まっていると良く言います。言いにくい事はなかなか言えませんが、強いチームほど言いにくい事をはっきり言っております。又その土壌があります。弱いチームはなんとなく上っ面で仲がよいのですが、根本的に目的意識が弱く勝つ為にやると言う自意識が全くなく、毎日なんとなく集まってやり3回戦位で敗けて残念でした……。帰りましょう……。

ある例がVリーグで2位になった時がありました。当時松下電器チームは通常5～6番目に位置しておりましたが、その時3位になっていた訳です。どの様な現象が起こったかと言うと表彰式で優勝したのは富士フィルムでしたが、それなりに喜んでおりましたが我々は地獄に落ちた如くふくれまくって下を向いておりました。3位の松下チームは優勝した様な大騒ぎでありました。その位自分達の目的意識“何をおいても勝つんだ”と言う気が皆んなの中に植え付いていれば喧嘩になっても大丈夫ですが、敗けている時目的意識が曖昧の時、喧嘩が起きる様になります。“ヤメさせてくれ”と言う声が出ます。ここが我々指導者として把握して喧嘩をさせる。そこまでもって行くのがむずかしいのです。特に選手、学生に言うのですが、上手な選手、下手な選手がいるバレーボールのコートを見た時、三角形でコートを埋めなさいと言う、丸の6つで埋めなさい……。どちらがたくさん埋まるかやってみましょう。最初は三角形を点と線を上手につかっはめて行く、丸の場合はいつまでやっても丸の隙間が埋まらないのです。永久に埋ま

らないのです。

個性と言うか、カドのある奴、ケンのある奴この人達は勝つ為には不可欠の存在です。強いチームで自己主張のないチームはありません。

今女子バレーの日立では山田先生が亡くなって色々トラブルがありました、日立女子OBの方々と色々話しが出るのですが、やっぱり同じ様な事を言っています。大林選手とか中田選手などは犬猿の仲だと言うんです。あれだけアンウンの呼吸でコンビバレーやっている、相当仲がよいと言う印象があらうかと思いますが、全くその様な事はありません。その時、その事をやる事ではお互いに認め合っているけれど、その他は全く関係ない……。と言う事の様です。

今の話しは勝つ為のスポーツと言う事に限定しておりますので、ぜひ土壌と目的意識が決まっていない時に使われますと非常にトラブります。今日話しを聞いたからお前達言いたい事を言え……。と言うとベースがない所でやると崩壊状態に陥る様になりますので、ぜひ皆さん気をつけてつかっていただきたいと思いません。目的意識を持たせる事は非常にむずかしいのですが、まずこれが“有りき”なんです。

私が指導する立場で一つだけ気を付けている事で中高生に教えに行く場合、今の子供達にたいして最近の先生は大変だなあ……。と思う事が多々あります。

私が行きますと子供達はフンゾリ返って寝ている訳で、父母や指導の先生が私の所に来て“ぜひよろしくお願ひします”

と言われます。子供は寝たままです。私は父母に教えるのではなく子供達なんですから、子供達に言わせて下さいと言うと、いやいやそう言わないで……。と言われるのです。私が思うには父母はその時“あなた達、何をやっているの……！先生が来られているのですから全員立ってお願いします……。”と言えないのと言う事が本来ではないかと思ひます。その辺が少しズレて来ているな……と思ひ、その様な状況の中で毎日指導する先生は大変な事だな……。と思ひながら指導しているのですが、特に注意している事は一つだけあります。クイックレスポンス、スポーツの場合相手が何かをしたら運動生理学時に15秒の間の内に、今のはOK今のはだめ……ときっちり言ってやる事が大切であります。監督さんが練習中や試合中に座っていられ、10分～15分後に集まって来たら“さっきのアレはだめとか、もっとコーやれ”と言われても分からない訳で、何分も過ぎた後ですので、これは指導者としての丁寧さが欠けていると言う事です。やはり気づいた時すぐに言ってやる。人間の身体は生理的にその様になっている様でして、筑波大学の先生から色々研究した結果、指導者はぜひこの様な事を注意してクイックレスポンス、“何かあったらすぐに言う”と言う話しを聞きました。

私が色々な所に指導に行きますと、あまり子供達をケナス事はしません。子供達は私に怒られても誉められても相当に深く残りますので、結果を誉める事しか致しませんが、誉めるにしても何かナイ

スプレーをした時、すぐに誉めると言う様に相当に気を付けて指導して来ました。

指導者としては大変な訳で常に神経を集中して見てなくてはならないので、学校の先生方は毎日苦勞されている訳です。

今日は勝つ為のチームワークとは常日頃から言いたい事を言い合って悪い所は保管して行き、それが出来ない時は必ず勝てませんよ……。と言いたかったのであります。

仕事の上でも何かお役に立てればよいな……。と思ひます。何か次の機会がありましたら違った角度からお話しさせていただきます。本当に短い時間でありましたが、お付き合いいただきまして、ありがとうございました。

新入会員挨拶

川瀬康裕会員



ただ今ご紹介いただきました川瀬でございます。23年長岡で生まれまして50歳になります。現在東本成寺の工業高校の隣で神経内科と言う、一般にあまり知ら

編集後記

れておりませんが頭痛、眩、痴呆等を見る科と内科を一緒に見る開業医をやっております。今見渡しまして私の先輩の同業の方もいらっしゃるんですが、先生と呼ばれる仕事をしている訳ですがどちらかと言うと毎日が現場で生きている人間です。なので世間的に見ますと、およそボケと言う様な事と自認しております。この伝統のある素晴らしい仲間に入れていただきまして、世の中についておそわりながら人間として成長して行けたならと思っております。

ボケの川瀬であります、良く覚えておいて下さい。どうもありがとうございます。

緒方さんの卓話、元気で分かりやすく“勝つ”と言う考え方をスポーツを通じてのお話し楽しく拝聴させていただきました。

目的意識を統一し、常日頃から役割分担を確認し全員が個々の個性を最大限に出すと言う事は大変な仕事です。皆さん頑張りましょう。 ㊦

例会案内

三条RC	6月24日例会	会長・幹事慰労会
	7月1日例会	クラブ・フォーラム

メイクアップをどうぞ

三条南RC	6月22日例会	クラブ・フォーラム
	6月29日例会	会長・幹事慰労会

三条北RC	6月23日例会	クラブ・フォーラム
	6月30日例会	会長・幹事慰労会

加茂RC	6月25日例会	クラブ・フォーラム
	7月2日例会	クラブ・フォーラム

燕RC	6月25日例会	会長・幹事慰労会
	7月2日例会	クラブ・フォーラム

見附RC	6月25日例会	会長・幹事慰労会
	7月2日例会	クラブ・フォーラム
